



① 下風呂温泉郷入口

海沿いの国道279号を大間方面へ走ると、やがて左手に下風呂温泉郷の大きな看板が現れます。アイヌ語で「臭い岩」という意味の「下風呂」は、下北地方を代表する温泉街で、室町の古から続く名湯です。

② 新 湯

「大湯」とともに下風呂温泉の源泉と言われる古い温泉。「大湯」に比べて濁りが少なく透明で、地元の人にも人気の高い共同浴場です。

営7:00～20:30(4/1～10/31)・8:00～20:30(11/1～3/31)
休毎週火曜休 料350円



③ 自由寺



1687年に、京都の妙心寺の大道生安という和尚が寄進したと言い伝えられる青銅の薬師如来がある古刹です。

④ 若宮神社

毎年10月に二日間に渡って行われる「若宮稲荷神社例祭」の際には、ライトアップされて幻想的な雰囲気を感じさせます。社殿まな続く石段はかなりキツイので、体力に自信のある方はチャレンジしてみてもいいかも？



⑤ 大 湯



歴史ある下風呂温泉郷の中で、最も古い温泉。下北産のヒバで作られた湯殿と浴槽は、昔ながらの「湯小屋」の雰囲気。熱い」と「普通」の2つの湯船があり、お湯は白濁の硫黄塩泉で、筋肉痛や消化器疾患・皮膚病・婦人病などに効果があります。熱めのお湯がお好きな方にはオススメです。

営7:00～20:30(4/1～10/31)・8:00～20:30(11/1～3/31)
休毎週月曜休 料350円

⑥ 鉄道アーチ橋メモリアルロード

太平洋戦争中に建設が進められたものの、戦況の悪化で完成することなく終わった幻の「大間鉄道」。その鉄道用のアーチ橋を、2005年に「鉄道メモリアルロード」(遊歩道)として整備しました。遊歩道中央部には「足湯」が設置され、津軽海峡を眺めながらくつろぐことができます。



漁り火鑑賞
絶景ポイント

⑦ 足 湯



営4月下旬～10月末 料無料

鉄道アーチ橋メモリアルロードの上に設置された「足湯」の源泉は、「大湯」や「新湯」とは異なり、海辺から湧く塩化物泉。

⑧ スナック ドランカー様

地元の人々が集う気軽に利用できるスナック。
営19:00～23:00頃 休不定休 予3,000円～

⑨ スナック 雅様

気軽にカラオケが楽しめるスナック。
営19:00～23:00頃 休不定休 予3,000円～

⑩ 居酒屋 寺郎様

旅館「まつき荘」の1階にあり、料理のメニューは無く、その日の店主のおまかせ料理が味わえます。

営19:00～22:00
休不定休 予2,000円～



⑪ かねもり商店様



食料品や酒類はもちろん、村の特産品まで幅広く取り扱っているお店です。
営7:00～21:00 休不定休

⑫ あさの食堂様

ラーメンなどの一般メニューの他、名物の活イカ定食やウニ丼が好評。地場の食材を肴にお酒も呑めます。
営11:00～21:00 休不定休



⑬ 活イカ備蓄センター

「元祖 烏賊様レース」はここで生まれました。レースに参加して、新鮮な活イカに舌鼓!
営8:00～17:00 (5月～10月下旬)
休不定休



⑭ 二見岩



海峡漁り火公園内にある陰陽の二つからなる奇岩。伊勢の二見浦の夫婦岩に似ていることから、二見岩とも呼ばれています。大正時代にイカ釣りにきた漁師たちがそのまま居住し、ここに神を祀ったとされています。

下風呂温泉郷縁起

康正年間(1455年～1456年)の地図に下風呂を湯本と記してある。湯本と云うは古く温泉地に冠せられた處にて、其例は関東にて箱根の湯本、那須の湯本(略)などがある。

これ等は何れも温泉地として夙に著聞する處であるが、下風呂も既に早くから温泉を以て知られた處である。

(下北半島町村誌より)

営 営業時間 休 休日 料 ご利用料金 予 ご予算

鉄道アーチ橋より津軽海峡を望む。夜は漁り火を眺める絶景スポット。

